

令和元年度特別支援学校企業向け見学会（道央圏の概要）

令和元年12月 北海道立特別支援教育センター

今年度も道内の職業学科を設置する特別支援学校の協力の下、各学校の生徒が学んでいる姿を実際に見ていただくことにより、生徒の卒業後の就労先の拡充及び障がい者雇用の充実を図ることを目的として、障がい者の雇用を検討する企業を対象に、「特別支援学校企業向け見学会」を開催しました。道央圏にある職業学科を設置する特別支援学校9校では、述べ60社、参加者数100名の企業の方から参加がありました。

見学会当日は、昨年度と同様、各学校の概要や進路指導の状況を紹介するとともに、障害者職業センターの方から障がい者雇用に向けての説明を行いました。また、各学校の作業学習等の授業の様子を実際に見たり、学校によっては、地域の方々に親しまれている喫茶コーナーを実際に企業の方々に利用していただいたりするなど、趣向を凝らしたおもてなしをする工夫も見られました。



【喫茶コーナーを利用する企業の方々】

① 見学会を実施した学校と参加企業数

北海道労働局では、本見学会を昨年度実施した際に、各企業からいただいた感想が好評だったことを受けて、道央圏で開催する学校数を7校から9校へ増やす等の充実を図り実施しました。右の表は、今年度、道央圏で開催した特別支援学校の取組をまとめたものです。

学校名	企業数(社)	参加数(名)
新篠津高等養護学校	11	25
市立札幌みなみの杜高等支援学校	5	7
白樺高等養護学校	6	12
札幌稲穂高等支援学校	6	7
札幌高等養護学校	7	10
小樽高等支援学校	6	10
市立札幌豊明高等支援学校	6	9
千歳高等支援学校	7	11
札幌あいの里高等支援学校	6	9
合計	60	100

このような取組は、道央圏以外に道南圏や道東圏でも行われています。

② 学校の概要及び進路指導の説明

各学校では、企業の方へ特色ある教育活動を中心に紹介しました。また、設置している学科の特色や学習内容、在学中における進路指導の流れや卒業生の就労状況について伝えました。また、学校で学んだことを実際の職場で生かしたり、活用したりする機会を通じて、社会参加や自立への意欲を育みたいと考えていることが各学校から説明されました。



【概要や進路状況等の説明】



【職業センターからの説明】

③ 障がい者雇用に向けて

見学会では、障がい者雇用の現状等について、北海道障害者職業センターから説明がありました。各企業が障がい者雇用を検討し、不明な部分や不安なことが想定された場合など、丁寧に相談に応じてくれることが分かりました。

見学会では、障害者職業センターの具体的な活用方法についても話題になり、実際に活用している企業のお話を聞くことができました。具体的な活用例については、右側を参照してください。

職業センター活用例



④ 学校見学（学習の様子）

各学校で取り組まれている作業学習（実習）を中心に、生徒が働くために必要な知識・技能や態度・習慣をどのように学んでいるか知る機会となりました。熱心に取り組んでいる生徒の姿に、企業の方々も感心する様子が見られました。



【作業の様子を見学】



【生徒からの説明】

⑤ 見学会に参加した企業の方の声

- どの生徒も集中力が高く、始まりの挨拶をした後、すぐに仕事に取り組む姿は、大変立派であった。（企業人事担当Aさん）
- 学校の先生方の指導が、きめ細かで、行き届いている印象を受けた。丁寧に関わりを通して、生徒を育てていることを改めて理解することができた。（企業人事担当Bさん）
- 特別支援学校で調理しているパンのクオリティーが高く、驚いた。企業としても負けないように心掛けたい。（企業人事担当Cさん）
- どの生徒も礼儀正しいと思った。挨拶することを目標としてたくさん掲示されており、身に付いている姿に関心した。（企業人事担当Dさん）